

乙姫城

十年度の活動を振り返って

妻木城址の会
 〒509-5301
 土岐市妻木町3051-1
 八幡神社社務所内
 TEL0572-57-6441

会長 鵜飼金一

妻木城址の会が発足して三年になりました。この間に妻木氏に係わる歴史、史跡の研究調査活動を続けてまいりましたが、各方面から貴重な資料や古文書の提供や、全国の文献調査の実施により新たな史実が次々と明らかとなり、短時日ながら予想以上の成果が得られました。これは、当会発足による意義の深さを実感しております。

特に市ご当局の私共の活動に対するご理解とご配慮により、今後の遺跡保護整備に重要な基礎となる妻木城跡土屋敷跡の測量調査と発掘調査を、実施していただいた事は喜びでありました。又この調査にご協力いただいた地権者の皆さんに感謝申し上げます。

本年度は重点事業として、「全国妻木さんサミット」を開催し大きな反響がありました。参加されました妻木姓の皆さんには、先祖ゆかりの地を訪れ妻木氏の偉業と歴史に触れていただき感激して帰られ成功でありました。今後も交流を深める事業を続けたいと計画しております。その他文化財展や郷土史講座、よるい作り教室などの

活動を行いました。

一年を振り返り、会員の皆さん地域の皆さんから賜りましたご支援に対し厚くお礼申し上げます。今後一層のご鞭撻をお願い申し上げます。

岐阜新聞に連載中、

「妻木の歴史をたどる」

岐阜新聞三月二十日朝刊より

妻木の歴史をたどる



広大な城跡が姿を現す

「城址の会入会の最大の特典は、炎天下での草刈り作業ができること」元談めかしているが実態に近い。年二、三回有志が数十人、城跡や土屋敷跡の下刈り作

下刈り作業

業に励む。立木を倒し、草を刈る。四年間でほんの一部を整備したにすぎない。刈り取った草はすぐに伸びてくる。

(土岐市・妻木城址の会)

岐阜新聞に二一回妻木の歴史と城址の会の活動を連載中です。カラー写真に簡単な説明を付けて紹介しています。週に三回ほどの掲載となります。

東京日本橋、重要文化財に指定

妻木頼黄（よりなか）の設計した日本橋が、重要文化財に指定されます。

「朝日新聞」三月二〇日朝刊によれば、

文化財保護審議会（西川杏太郎会長）は十九日、国道の起点となっている日本橋（東京都中央区）や、愛知県犬山市の明治村にある旧伊勢郵便局舎など十一件の建造物を重要文化財に指定し、一件の街並みを重要伝統的建造物群保有地区に、四十九件の建造物を登録有形文化財にするよう有馬朗人文相に答申した。

日本橋は石造りの二連アーチ橋で、一九一一年（明治四十四年）に完成した。長さ四十九メートル、幅二十七メートル。青銅製の照明灯には、想像上の動物の麒麟や東京を守る役割を持つという意味で獅子があしらわれ、和漢洋を調和させた装飾。六七年の都電廃止に伴って橋の中央からたもとに移築された「東京市道路元標」（高さ約八メートル）も付属物として、重文の指定対象となった。

妻木頼黄は、旗本上総妻木家（千石）の十二代目。父頼功は上郷妻木家から養子に迎えられた。また「頼黄」

の名は下郷妻木家九代目頼欽によって付けられたという。頼黄はアメリカに留学して建築を学び、後に明治時代の代表的な建築家として活躍する。



の代表的な建築物に日本橋、東京府庁、日本赤十字社本社、横浜正金銀行（横浜市）などがある。また東大寺大仏殿の明治の大修理も頼黄によっておこなわれた。

日本橋は東海道の起点として、誰もがよく知っている有名な橋です。この橋の設計者が妻木氏の一族であったことは私たちの誇りです。

日本橋 明治四十四年
出典「妻木頼黄と臨時建築局」博物館明治村より

妻木城の調査について

去三月七日に、土岐市教育委員会による現地説明会が予定されていましたが、あいにくの雨で中止になりました。年度末の多忙な日程の都合で予備日がありませんでしたので、歴史愛好家をつかりさせました。

紙上にて今回の発掘調査の概要を報告致します。今回の調査は、四年計画で行われているもので、本年度が二年目になります。遺跡の測量や一部発掘調査を行うことで、遺構の現状を確認し、今後の保護と活用の基礎資料とする事を目的としています。

昨年度は御殿跡土屋敷跡の測量調査と御殿跡での発掘調査が行われました。御殿跡は江戸時代の中頃には耕地地になっており多くの遺構が取り除かれた可能性があります。

本年度は妻木城跡の測量調査と御殿跡の発掘の継続及び、山上の本曲輪、二の曲輪、三の曲輪、蔵跡と呼ばれる場所にて試掘が行われました。

本曲輪、二の曲輪からは柱穴とそれより上の面から礎石が確認されました。出土する陶器などの年代から一五〇〇年代中頃と考えられます。この時期は土岐明智氏内紛から妻木城主が妻木氏に交代する動乱期にあたります。もう少し視野を広げると美濃国では守護土岐氏から齊藤道三へと移った時期です。大きな時代の転換期にあたって城山の山頂に築城する必要があったのかもしれない。

今後の調査で建物跡の規模などが明らかになることが期待されます。

測量や発掘調査の成果と古文書などの史料調査の両面から検討することで、妻木城の歴史に迫りたいと思います。



二の曲輪の発掘風景
礎石や柱穴が確認されました。



御殿跡の井戸跡
御殿跡からは、井戸の跡が出土しました。石組みが残されています。

定例総会のお知らせ

来る四月十一日(日)に定例総会及び講演会を行いますので多数の方の出席をお願い致します。

期日 四月十一日午後一時三十分より

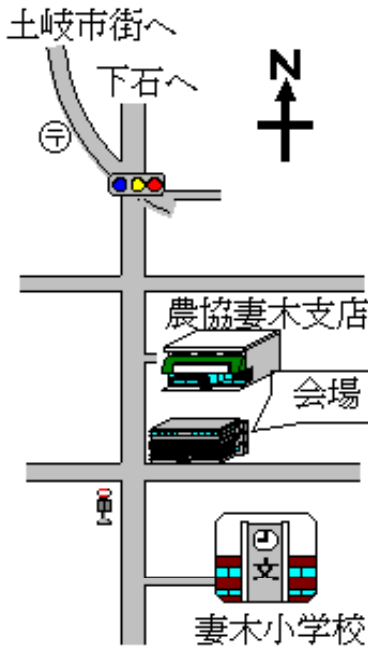
会場 妻木町産業福祉センター三階

総会 午後一時三十分より

講演会 午後二時三十分より

総会は事業報告・決算報告に引き続き、次年度の事業案・予算案の審議をお願いいたします。

講演会は、妻木城の調査の成果と今後の課題についてスライドを使って、わかりやすく説明します。一般の方の入場も歓迎しますので、お問い合わせにてお出かけ下さい。



新年度会費納入のお願い

新年度分の会費の納入をお願いいたします。同封の振込用紙を使用し郵便局にて振り込み下さい。振り込み手数料は不要です。(会の方で負担いたします) 会費は三千円です。本会にご寄付いただける方は会費及び寄付金の合計額をご記入ください。

なお、妻木城址の会事務局(八幡神社社務所)、妻木公民館にても受付させていただきます。総会当日は会場にて受付いたします。

「妻木城址の会」は会員の皆様の会費によって成り立っています。妻木城の下刈り作業や文化財展の実施などの経費に充てられています。地域住民や妻木城を愛する人の力で貴重な歴史遺産を守り、地域の発展に歴史を生かす運動を成功させたいと思います。ぜひ会員の継続をお願いいたします。また、新規会員の勧誘をお願いします。

講演会「妻木城の発掘について」

四月十一日午後二時三十分より

産業福祉会館三階

スライドを使って発掘の成果を紹介します。多くの方の入場をお待ちしています。